

令和4年度 第2回 西小学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和4年7月14日(木) 13時30分から16時00分
  2. 開催場所 西小学校 会議室
  3. 出席委員 中谷 忠司 土屋 雅利 加藤 正寿 山田 悟央 三上 昌子  
岡野 みの 鈴木 将孝 平出 慎一郎
  4. 欠席委員 福田 達樹
  5. 学 校 青島 治道(校長) 長瀬 千晶(教頭) 古田 秀樹(CS担当職員)  
加美 美紀(CSディレクター)
  6. 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
  7. 傍聴者 なし
  8. 協議事項
- (1) 議長の選出について
  - (2) 本校の課題について
  - (3) 学校評価項目および書面による意見書のお知らせ
9. 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀
  10. 会議記録

(1) 議長の選出について

司会の教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) 本校の課題について

議長の指示により、教頭から別紙資料(本校教員が課題と感じていること、ボランティアがほしいと感じることについての事前アンケート)に基づき、本校の課題についての説明があった。また、本日欠席の福田委員の意見を資料と共に紹介した。

(福田委員) 資料

・部活動ボランティアは周辺地域から部活動指導員として手伝ってくれる方を募集してみたいか。

・総合学習の地域人材は市や県などの役所が人材の宝庫であるので積極的に活用すべきである。

・教職員の勤務時間については、教科担任制をもっと導入して教員と事務員を増員するしかない。プールの水質検査を教員がやるのはいかがなものか。事務員が行う方がよい。教員の8時始業というルールを変えて、7時から8時までの間の、自由な時間に設定して出勤できるようにしてはどうか。県職員は実施している。子供の予定帳チェックは特別な持ち物があるときだけは、チェックするというようにすれば良いのでは。清掃活動は子供に任せて掃除をさせれば良いのではないか。

その後A、Bグループに分かれて、課題に対する感想および支援策について熟議した。

#### Aグループ（中谷、岡野、鈴木、平出）

- ・一律になっている勤務開始終了時刻を、A日程、B日程などと分けてみてはどうか。
- ・教員数が不足していることが問題だと思うので、デジタル化を進めながら業務の改善をしていくことが必要だと思う。
- ・地域の方々（特に高齢者）は、学校に対して何らかのお手伝いをしたいと思っているようだが、本人から学校に対して声をかけにくいと思う。
- ・朝早く登校してくる子がいると聞く。そういった子供への対応をしなくてはならないなど、先生が子供に関わりすぎているのではないだろうか。改善できるところは変えていかなければ、教員のなり手が減ってくるのではないか。
- ・業務の改善だけでなく、先生方の心のケアも考える必要があると思う。
- ・父親が積極的に関わる、人材を登録制にするなど、必要な人材を確保することが大切だと思う。
- ・学校ではどういったことに時間がかかっているのか、もっと浮き彫りにした方がよいと思う。

#### Bグループ（土屋、加藤、山田、三上）

- ・学校に人が足りないということは分かる。人を増やすか仕事量を削減するかを考えなければならない。今あるルールの中で、どう対応するかを考える必要がある。
- ・仕事の見通しを立てて、外部委託できるものは何があるのかを先生方から教えてほしい。
- ・学校の中でどんなことを減らせるのか考えないといけない。
- ・例えば、5、6年生の予定チェックは先生がする必要はなく、子供に任せてもよいのではないか。困った時は、自分でなんとかする。
- ・宿題の丸つけで休み時間が過ぎていくのであれば、宿題をやめてもよいのではないか。
- ・学校でのボランティアといっても、出来るものと出来ないものがあり、少しでも出来る所々から募集してみてはどうか。例えば、掃除ボランティアや休み時間に遊ぶボランティア、給食配膳ボランティアなど。その間に、先生方は丸つけできればよいのではないか。
- ・子供が50人いれば親が100人となり、祖父母も加わると200人になる。この部分を使えば結構な人材パワーになるのではないか。
- ・自治会も社会福祉協議会で地域の課題を解決しようとしている。社会福祉協議会と学校運営協議会が繋がると西小コミュニティが出来てくる。将来的に大きく広がっていくことをイメージして、小さくてもできることから進めていくのはどうか。
- ・老人と子供が繋がることは効果があると思う。学校に地域の高齢者が来て、一緒に遊ぶことができるといいと思う。
- ・先生方の余裕をつくるためにも、出前講座をたくさん取り入れてみてはどうか。

続いて、全体熟議に入り、学校運営協議会としてどのようなことができるかを協議した。委員からは以下の発言があった。

- ・教員の一日のスケジュールを見て業務の大変さを感じた。既存の業務をリセットし、働き方改革を真剣に考える必要があるのではないか。(鈴木委員)
- ・業務の改善をしていくためには、まずは精査して、やめることはやめていく、デジタル化に出来ることは進めていくべき。そして、学校と地域が連携して人材バンクを作り、ラインなどの簡単なツールを使って登録する形にしてはどうか。また、家庭学習の丸つけなどは親が行うなどして教員の負担を減らす方法もある。(平出委員)
- ・先生方の負担を減らすことが重要。学校でのボランティアに興味がある高齢者はいる。顔と顔がつながっていくことが大切だと思う。(岡野委員)
- ・高齢者を集めるシステムを作ることが大変だと思うので、校内に地域の人が集まる部屋を作ってはどうか。(三上委員)
- ・「〇〇をしてほしい」など先生方の本音の部分をもっと具体的に引き出さないと、今後どのように変えていけばよいのか分からないと感じた(山田委員)
- ・特別な能力がなくても、給食の配膳を手伝う、一緒に遊ぶといったことから、はじめてみてはどうか。(加藤委員)
- ・教員の負担を減らすために、人を入れる方法と削減する方法があるが、まずは削減できることについて考えてみてはどうか。業務については、教職員が削減できることを見直す必要がある。やってほしいことについては、ボランティアを入れてもよいところとだめなところがあると思うので、教職員で優先順位を付けてくれるとよい。(土屋委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### (3) 学校評価項目について

教頭から、学校評価項目についての説明があった。また、福田委員から書面で、PTAとして学校通学路の改善要望を提出し、協働センターまつりについての新たな提案をしたこと、またキャリア教育、防災教育に向けた提案がなされた。

### ○次回の開催日時

令和4年11月17日(木) 13時30分～16時